



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラン：北朝鮮との関係

(9月5日付現地紙)

9月3-4日、テヘランにて「人権及び文化的多様性に関するNAM(Non-Aligned Movement: 非同盟運動)閣僚会合」が開催され、100カ国のNAM加盟国の代表が参加した。又、本会合は、「NAM人権・文化的多様性センター」をテヘランに設立する旨のイランの提案に支持を表明した。

9月5日、同会合に参加のためにテヘランを訪問した北朝鮮の朴外相は、イランのモッタキ外相と会談した。

1. モッタキ外相は、NAMテヘラン会合への北朝鮮の出席に謝意を表すと共に、北朝鮮を「イランの旧友」と呼んだ。又、両国関係拡大への努力を示し、金正日北朝鮮総書記のイラン訪問を歓迎する旨を述べた。
2. モッタキ外相は、経済・貿易分野での両国関係協力のための良好な土台が存在するとして、自動車生産、鉱工業、住宅建設の分野における協力、研究・学術協力、技術工学サービス分野での協力の実施が可能である旨を述べ、こうした様々な分野における北朝鮮との協力に関するイラン側の意思を強調した。
3. 北朝鮮外相も、北朝鮮高官のイラン訪問が二国間相互の出来るだけ多くの分野における協力拡大に寄与することを期待する旨述べた。又、北朝鮮当局がイランに特別な敬意を有していることを示唆した上で、「我々は、イランとの関係を優先的に考えており、両国間関係の促進のためには如何なる努力も惜しまないであろう」と述べた。